



**Data**

監督・脚本: タイラー・ニルソン、  
マイケル・シュワルツ

出演: シャイア・ラブーフ/ダコ  
タ・ジョンソン/ザック・ゴ  
ツァーゲン/ジョン・ホー  
クス/トーマス・ヘイデン・  
チャーチ/ブルース・ダーン  
/ジョン・バーンサル/イェ  
ラウルフ/ミック・フォーリ  
ー/ジェイク・ロバーツ

### ■ショートコメント■

◆2019年8月にアメリカでわずか17館からスタートしながら、公開6週目には149館まで拡大する大ヒットを記録した本作は、ハートフル・ロードムービーの典型。ダウン症の青年ザック役に登場する主人公は、自身もダウン症の無名の俳優ザック・ゴツァーゲンで、本作が映画初出演だ。

違法なカニ漁を糾弾された腹いせに小屋に火をかけて逃げ出した漁師のタイラー（シャイア・ラブーフ）と、養護施設から逃げ出したザックがたまたま同じ船に乗り込んだところから、奇妙な2人旅が始まることに・・・。

◆そこに追いついてくるのが、「ザックを探し出して連れ戻せ」と命じられた、看護師のエレノア（ダコタ・ジョンソン）。ところが、憧れのプロレスラーであるクリント・ソルトウォーター（トーマス・ヘイデン・チャーチ）がやっているレスラー養成所に行きたいというザックの希望を知り、それを実現させてやろうと考えたタイラーは、今やザックの親友兼ボスとして2人旅を仕切っていた。そこで、仕方なくエレノアは、目的地に着いたら施設に戻ることを条件としてその旅に同行することに。

しかして、フロリダを目指すタイラーをリーダーとして、筏に乗った男女3人の奇妙な旅が続くことに。

◆本作はそれだけの単純なロードムービーだが、3人の主人公の組み合わせが面白いというえ、ダウン症の青年を主役に起用したことの新鮮さもあって批評家たちの評価は高いらしい。たしかに、それも一理ありだが、私にはパンツ1枚で施設を逃げ出したザックが、スンナリ(?)3人での旅を続けることにかかなり違和感がある。ちなみに、そんな感想は、イン

ターネットの記事「ザ・ピーナッツバター・ファルコンは嘘っばい！感想とネタバレ」でも述べられている。

◆3人がクリントの家を発見した後は、そんな違和感が更に拡大していく。たしかに、ザックが尊敬するプロレスラー・クリントはそこにいたものの、彼は当然引退していた。そして、レスラー養成所も10年前に閉鎖したらしい。そりゃそうだろう。すると、この映画はそれでお終い・・・。

そうなるのが本当だが、その後本作はあっと驚く意外な（荒唐無稽な）ストーリーになっていくので、その賛否（好き嫌い）はあなた次第だ。また、こんな映画はハッピーエンドと相場が決まっているが、さて3人の旅の終着点は？それはあなた自身の目でしっかりと。

2020（令和2）年2月13日記